

# 健康とくらし

第277号 2021年1月



2020年10月末日現在  
会員数10,743人  
基金合計4億3715万1千円

発行責任者:大塚 研二

岐阜健康友の会

岐阜市北山1丁目13番11号

事務局/TEL(058)244-3522 FAX(058)215-7877

E-mail tomonokai@gifu-min.gr.jp

謹賀新年



岐阜労働者医療協会  
理事長 岩井 雄司

2021年、信頼を力に、希望に満ちる年に！

岐阜健康友の会 会長 大塚 研二

健 康 春 秋

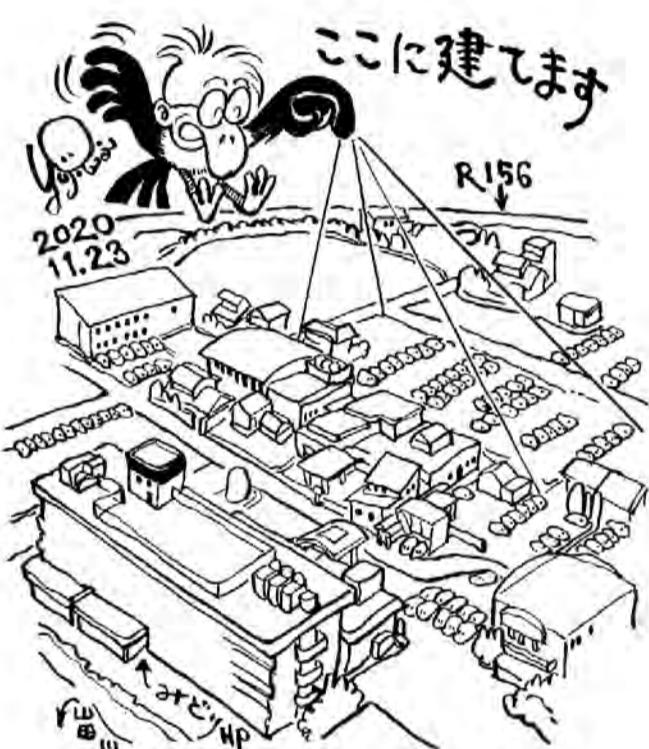


写真撮影:吉田昌樹氏 (フルマネットぎふ)  
わらべ保育所の子どもたち

わらべ保育所は、みどり病院の院内保育所として誕生し、38年の歴史があります。2018年4月に現在地に新築移転し、認可保育所として再スタートしました。3歳未満児までの小規模保育所で、定員は、職員の子ども20名、地域の子ども26名が在籍しています。新型コロナ感染症流行の中でも職員の勤務を保証するために休まず保育を続けてきました。

施設長 高田 一朗

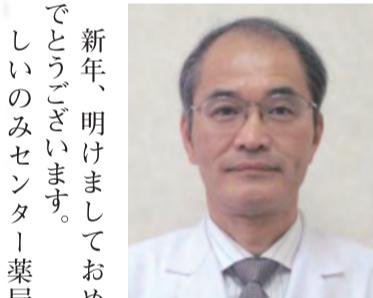
子どもたちは、寒くなつても薄着で元気に過ごしています。雨が降らなければ毎日散歩に出かけ、地域の方々から声をかけていただいているです。



現在、急速に地域の高齢化が進む中で、地域から本当に信頼される薬局をめざして、健康友の会をはじめ近隣医療機関や地域の諸団体と連携しながら活動を進めていきたいと思

明るいニュースの一番は、10月25日中米ホンジュラスが「核兵器禁止条約」の批准手続きを行い、批准国が発効要件の50カ国に到達したことです。

2017年7月の採択から3年余の短期間での達成は正直なところ私の想定外でした。画期的な「核兵器を全面禁止し、違法化する国際条約」が今月1月22日に発効するのです。実効性を持たせるためには、唯一の被爆国日本が核の傘への固執を止め、同条約を早々に批准することを引き続き求めていきましょう。



一般社団法人 ファルマネットギフ

理事長 青山 栄司



岐阜健康友の会 会長 大塚 研二

健 康 春 秋

の近くの法人社宅「じいのみハウス」は、昨年2月に完成しましたが、新型コロナウイルスの流行により、地域の利用を制限せざるを得なくなつてしましました。その中でもきちんと感染予防を行なうべりー」の活動の場や各種会議の場として地域への提供をおこなつてきました。今後、流行が終息したら本格的に薬局として、「地域に根ざした健康づくり」の実践をおこなう予定であります。

現在、急速に地域の高齢化が進む中で、地域から本当に信頼される薬局をめざして、健康友の会をはじめ近隣医療機関や地域の諸団体と連携しながら活動を進めていきたいと思

「医療・介護体制を弱体化する社会でいいのか」という問い合わせを広げ、民医連綱領にある「無差別・平等の医療と福祉の実現をめざす」私たちの運動の核心となるみどり病院のリニューアルを成功に導く希望に満ちる年にならなければなりません。学

守るために。(K)

の方からは、病院施設だけではなく病院までのアクセスの要求があります。病院からの距離に関わりなく、できる限り多くの人の意見・要求に耳を傾けることが大切です。

全日本民医連の調査によると「コロナ禍による経済困窮の広がりが命と健康を脅かしている」深刻な事例が数多くみられます。派遣の仕事が激減見を集め、アユの形に切った紙に書かれた要求や願いを病院の待合室に掲示するなどして、リニューアルをアピールしてきました。病院から遠い地域アンケートを配布して意見を集め、アユの形に切った紙に書かれた要求や願いを病院の待合室に掲示するなどして、リニューアルをアピールしてきました。病院から遠い地域

コンセプトを掲げ、職員が働きやすく、利用者が安心してかかることがで

きる病院をつくりあげま

しょう。

昨年は新型コロナウイルス感染症の拡大の中、健康友の会の活動は制限せざるを得ず、病院リ

ニユーアルの説明会を開く支部は限られましたが、

アンケートを配布して意

見を集め、アユの形に切つ

た紙に書かれた要求や願

いを病院の待合室に掲示

するなどして、リニューアルをアピールしてきました。病院から遠い地域

の存在意義は消滅したのではないかと思います▼さて、アメリカ大統領選。下馬評では、今回もトランプ氏が逆転勝利を予想する評者がいましたが、予想どうり「レッド・ミラージュ」から「ブルーシフト」のうねりが起こりました。バイデン氏が大統領にえらばれました。バイデン氏の政策は未知数ですが、とにかくトランプにははやく退場してほしいという思いでした。もつとも気になつてたのは、かれの環境政策です。地球温暖化を否定し、パリ協定からの離脱ではCO<sub>2</sub>の削減はより不可能になるという思いからです。これもひとまず安堵です▼そして今最も気になるのが菅政権による学術会議六人の任命拒否問題。多くの学会や団体が声を上げています。これは決してやむやに終わらせるものないよう、力を合わせて撤回させなければなりません。学問の自由、さらに思想の自由を守るために。(K)